

7. 環境保全活動を行う民間団体への参加 (問 7)

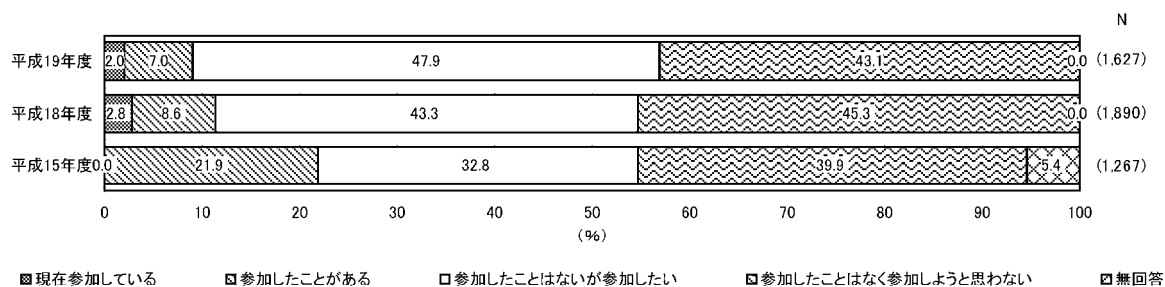
7-1 参加の有無と参加意向

環境保全活動を行う民間団体にこれまで参加したことがある人は約 1 割、参加したいとの意向を持つ人は約 5 割ある。経年でみると、「参加したことはないが、参加してみたい」人の比率は上昇している(33 43 48%)。参加率が高いのは、年齢別では 50 代以上、職業別では農林漁業、商工販売サービス、会社役員・会社経営、公務員、無職、その他、地域別では北陸、九州、都市規模別では 10 万人未満及び町村である。

環境保護活動を行う民間団体での活動等への参加の有無と参加意向を聞いたところ、「現在参加している」が 2%、「過去に参加したことがある」が 7%、「参加したことはないが、参加してみたい」が 48%、「参加したことはなく、今後参加しようとは思わない」が 43%である。

経年で見ると、「参加したことはないが、参加してみたい」人の比率は上昇している(33 43 48%)。

図表 7-1 民間団体への活動参加の有無(全体、時系列)



性別では、ほとんど差がみられなかった。

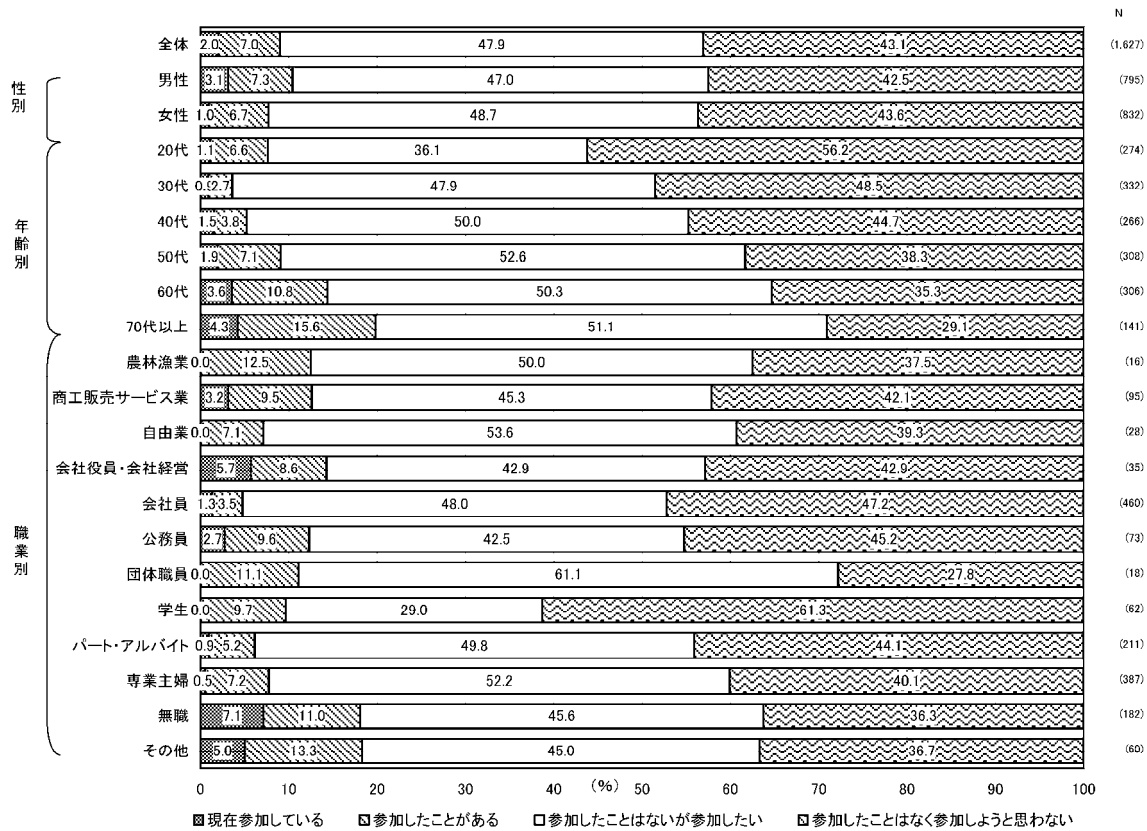
年齢別では、年齢が高くなるにつれて参加率(「現在参加している」「過去に参加したことがある」の合計)および参加意向(「参加したことはないが、参加してみたい」人の比率)が高くなる傾向がみられる。参加率は 50 代以上で高くなり、参加意向が 50%以上となるのは 40 代以上である。一方、20 代では参加率は 30 代よりも高い 8%であるが、参加意向は 36%と最低で、「参加したことはなく、今後参加しようとは思わない」は 56%と過半数を占めている。

職業別では、参加率が全体の比率より高い職業は農林漁業(13%)、商工販売サービス業(13%)、会社役員・会社経営(14%)、公務員(12%)、団体職員(11%)、学生(10%)、無職(18%)、その他(18%)である。参加率が全体の比率より低い職業は、自由業(7%)、会社員(5%)、パート・アルバイト(6%)、専業主婦(8%)である。また、参加意向については 50%を超える意欲を示すのは農林漁業(50%)、自由業(54%)、団体職員(61%)、専業主婦(52%)となっており、「参加したことはなく、今後参加しようとは思わない」は学生が最も多い(61%)。

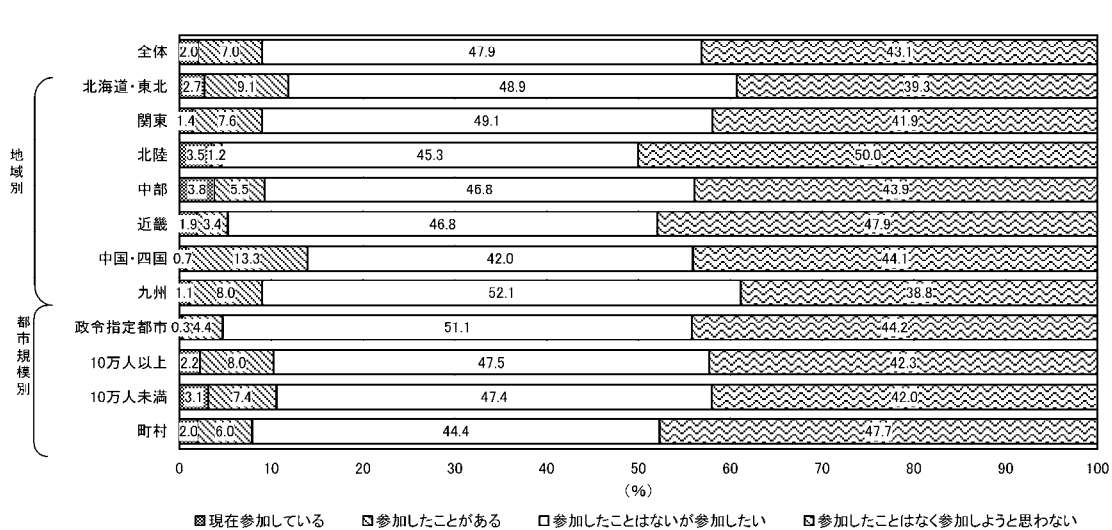
地域別では、参加率が高いのは北海道・東北地方、中国・四国地方で(12%、14%)、逆に低いのは北陸地方、近畿地方(5%、5%)である。参加意欲は九州地方が高く(52%)、「参加したことはなく、今後参加しようとは思わない」は北陸地方で高い(50%)。

都市規模別では、政令指定都市の実施率が低い、参加意向が過半数を超えている。その他に大きな差はみられない。

図表 7-2 民間団体への活動参加の有無(性別、年齢別、職業別)



図表 7-3 民間団体への活動参加の有無(地域別、都市規模別)

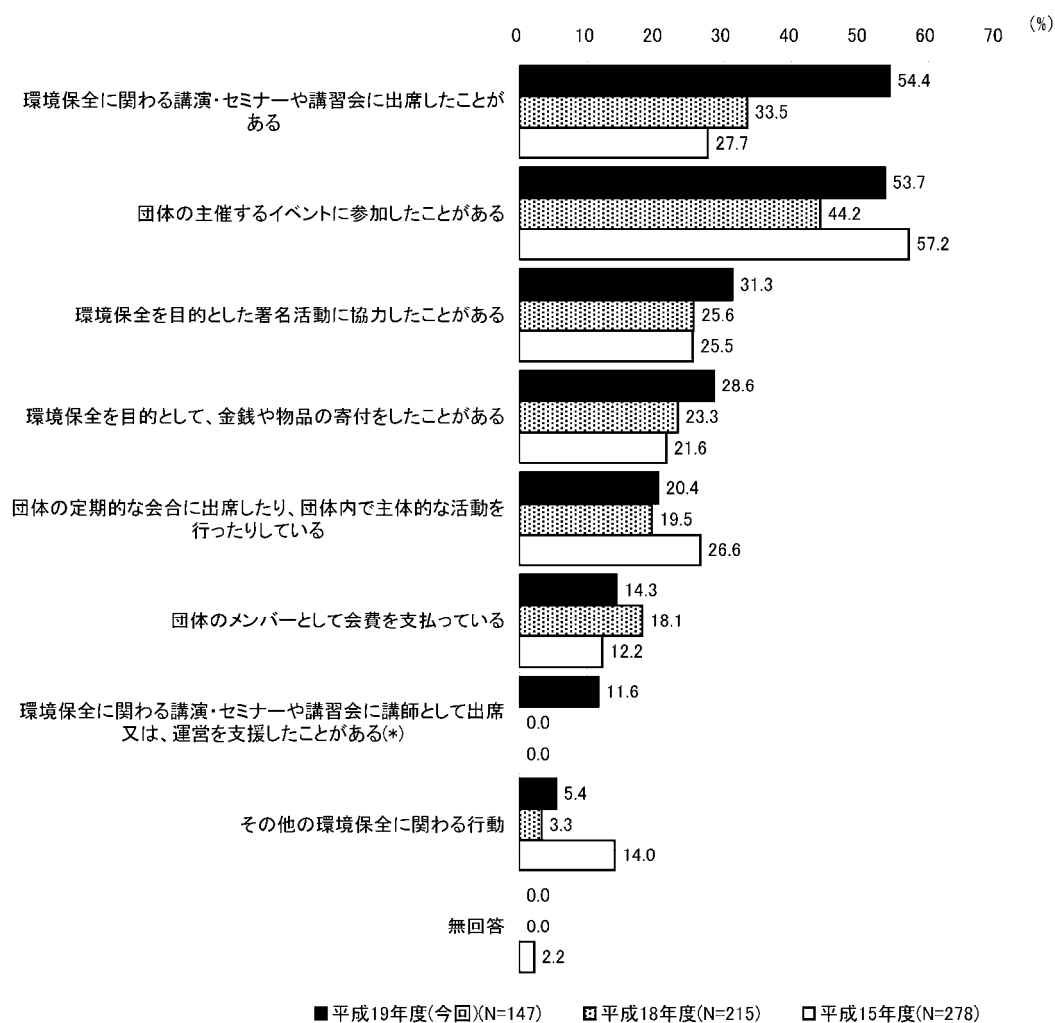


7-2 参加の内容

参加の内容としては、「環境保全に関わる講演・セミナーや講習会に出席したことがある」、「団体の主催するイベントに参加したことがある」が5割を超える。セミナーや講習会、イベントなどへの単発的な参加の比率が高く、定期的な参加や運営側への参加は少ない。

参加の内容としては、「環境保全に関わる講演・セミナーや講習会に出席したことがある」が最も高く(54%)、次いで、「団体の主催するイベントに参加したことがある」(54%)、「環境保全を目的とした署名活動に協力したことがある」(31%)、「環境保全を目的として、金銭や物品の寄付をしたことがある」(29%)となっている。

図表 7-4 参加した活動・行動の内容(全体、時系列)



注) *印は、今回の調査より追加した項目である。

性別で差が大きい項目としては、「団体の主催するイベントに参加したことがある」が女性の方が男性より高く(男性 47%、女性 63%)、「環境保全に関わる講演・セミナーや講習会に講師として出席又は運営を支援したことがある」が男性の方が女性より高い(男性 17%、女性 5%)。

年齢別では、いずれの世代も「環境保全に関わる講演・セミナーや講習会に出席したことがある」、「団体の主催するイベントに参加したことがある」といった単発的な参加内容の比率は高いが、「団体の定期的な会合に出席したり、団体内で主体的な活動を行ったりしている」、「環境保全に関わる講演・セミナーや講習会に講師として出席又は、運営を支援したことがある」といった定期的な参加や運営側としての参加の比率は少ない。その中で、30代と60代、70代以上で「団体の定期的な会合に出席したり、団体内で主体的な活動を行ったりしている」比率がやや高い(25%、25%、39%)。40代は「団体の主催するイベントに参加したことがある」に高い比率(71%)を示すものの定期的な会合やメンバーとしての活動などへの参加は少ない。

職業別では、「環境保全に関わる講演・セミナーや講習会に出席したことがある」について、農林漁業、自由業、会社役員・会社経営の参加割合が高い(100%、100%、80%)。

(年齢別、職業別はサンプルが少ない層があるので結果は参考としてとどめられたい)

図表 7-5 参加した活動・行動の内容(性別、年齢別、職業別)

	性別			年齢別							職業別										
	全体	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	農林漁業	商工販売サービス業	自由業	会社役員・会社経営	会社員	公務員	団体職員	学生	パート・アルバイト	専業主婦	無職	その他
調査数(N)	147	83	64	21	12	14	28	44	28	2	12	2	5	22	9	2	6	13	30	33	11
環境保全に関わる講演・セミナーや講習会に出席したことがある	54.4	56.6	51.6	47.6	50.0	35.7	57.1	56.8	64.3	100.0	50.0	100.0	80.0	40.9	66.7	50.0	50.0	69.2	50.0	54.5	45.5
団体の主催するイベントに参加したことがある	53.7	47.0	62.5	38.1	58.3	71.4	53.6	52.3	57.1	50.0	33.3	50.0	40.0	54.5	33.3	100.0	33.3	69.2	60.0	51.5	72.7
環境保全を目的とした署名活動に協力したことがある	31.3	30.1	32.8	33.3	33.3	21.4	35.7	25.0	39.3	100.0	33.3	0.0	0.0	22.7	44.4	0.0	16.7	46.2	30.0	30.3	45.5
環境保全を目的として、金銭や物品の寄付をしたことがある	28.6	27.7	29.7	28.6	16.7	14.3	25.0	29.5	42.9	0.0	25.0	50.0	0.0	18.2	33.3	0.0	33.3	30.8	30.0	36.4	36.4
団体の定期的な会合に出席したり、団体内で主体的な活動を行ったりしている	20.4	24.1	15.6	9.5	25.0	0.0	10.7	25.0	39.3	50.0	25.0	0.0	20.0	13.6	0.0	0.0	0.0	7.7	20.0	36.4	27.3
団体のメンバーとして会費を支払っている	14.3	13.3	15.6	9.5	33.3	0.0	7.1	11.4	28.6	50.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	16.7	7.7	20.0	24.2	18.2
環境保全に関わる講演・セミナーや講習会に講師として出席又は、運営を支援したことがある	11.6	16.9	4.7	9.5	25.0	0.0	10.7	4.5	25.0	50.0	8.3	0.0	0.0	18.2	11.1	0.0	16.7	0.0	6.7	15.2	18.2
その他の環境保全に関わる行動	5.4	4.8	6.3	4.8	0.0	7.1	0.0	9.1	7.1	0.0	8.3	50.0	0.0	9.1	0.0	0.0	16.7	7.7	0.0	6.1	0.0

地域別では、全体の比率より10%以上高い比率の項目に注目すると、北陸地方では「環境保全を目的とした署名運動に協力したことがある」、「環境保全を目的として、金銭や物品の寄付をしたことがある」が高く(ともに50%)、近畿地方は「団体の定期的な会合に出席したり、団体内で主体的な活動を行ったりしている」が高い(36%)。九州地方は「環境保全に関わる講演・セミナーや講習会に出席したことがある」、「団体の定期的な会合に出席したり、団体内で主体的な活動を行ったりしている」、「団体のメンバーとして会費を支払っている」が高い(65%、35%、29%)。

都市規模別では、規模の大きい都市であるほど活動内容が多様である。

(地域別はサンプルが少ない層があるので結果は参考としてとどめられたい)

図表 7-6 参加した活動・行動の内容(地域別、都市規模別)

	全体	地域別							都市規模別			
		北海道・東北	関東	北陸	中部	近畿	中国・四国	九州	政令指定都市	10万人以上の市	10万人未満の市	町村
調査数(N)	147	26	44	4	22	14	20	17	15	83	37	12
環境保全に関わる講演・セミナーや講習会に出席したことがある	54.4	57.7	47.7	50.0	50.0	57.1	60.0	64.7	46.7	53.0	62.2	50.0
団体の主催するイベントに参加したことがある	53.7	50.0	63.6	50.0	50.0	42.9	50.0	52.9	46.7	61.4	40.5	50.0
環境保全を目的とした署名活動に協力したことがある	31.3	30.8	31.8	50.0	13.6	35.7	35.0	41.2	26.7	30.1	35.1	33.3
環境保全を目的として、金銭や物品の寄付をしたことがある	28.6	34.6	36.4	50.0	27.3	14.3	20.0	17.6	40.0	36.1	10.8	16.7
団体の定期的な会合に出席したり、団体内で主体的な活動を行ったりしている	20.4	19.2	18.2	0.0	18.2	35.7	10.0	35.3	20.0	20.5	24.3	8.3
団体のメンバーとして会費を支払っている	14.3	7.7	13.6	0.0	18.2	14.3	10.0	29.4	13.3	16.9	10.8	8.3
環境保全に関わる講演・セミナーや講習会に講師として出席又は、運営を支援したことがある	11.6	11.5	20.5	0.0	18.2	0.0	5.0	0.0	6.7	18.1	2.7	0.0
その他の環境保全に関わる行動	5.4	7.7	2.3	0.0	0.0	14.3	15.0	0.0	6.7	7.2	2.7	0.0

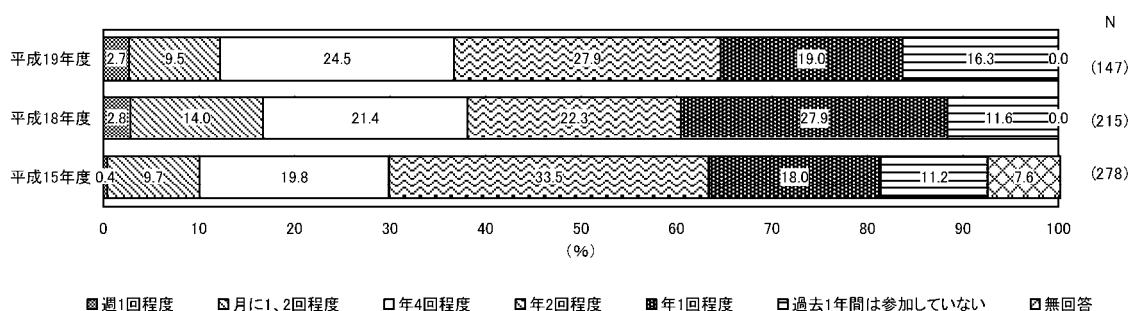
7-3 参加の程度

民間団体の環境保全活動への参加頻度は、「年2回程度」が最も多く、次いで「年4回程度」である。

民間団体の環境保全活動参加経験者の1年間における参加頻度は、「年に2回程度」が最も高く(28%)、これに「年に4回程度」(25%)、「年に1回程度」(19%)が続いている。

前回調査と比較すると、「過去1年間は参加していない」比率がやや増加した(12 16%)。また「年に2回程度」「年に4回程度」が増加(22 28%、21 25%)し、「月に1,2回程度」「年に1回程度」が減少(14 10%、28 19%)している。

図表 7-7 環境保全活動参加の程度(全体、時系列)



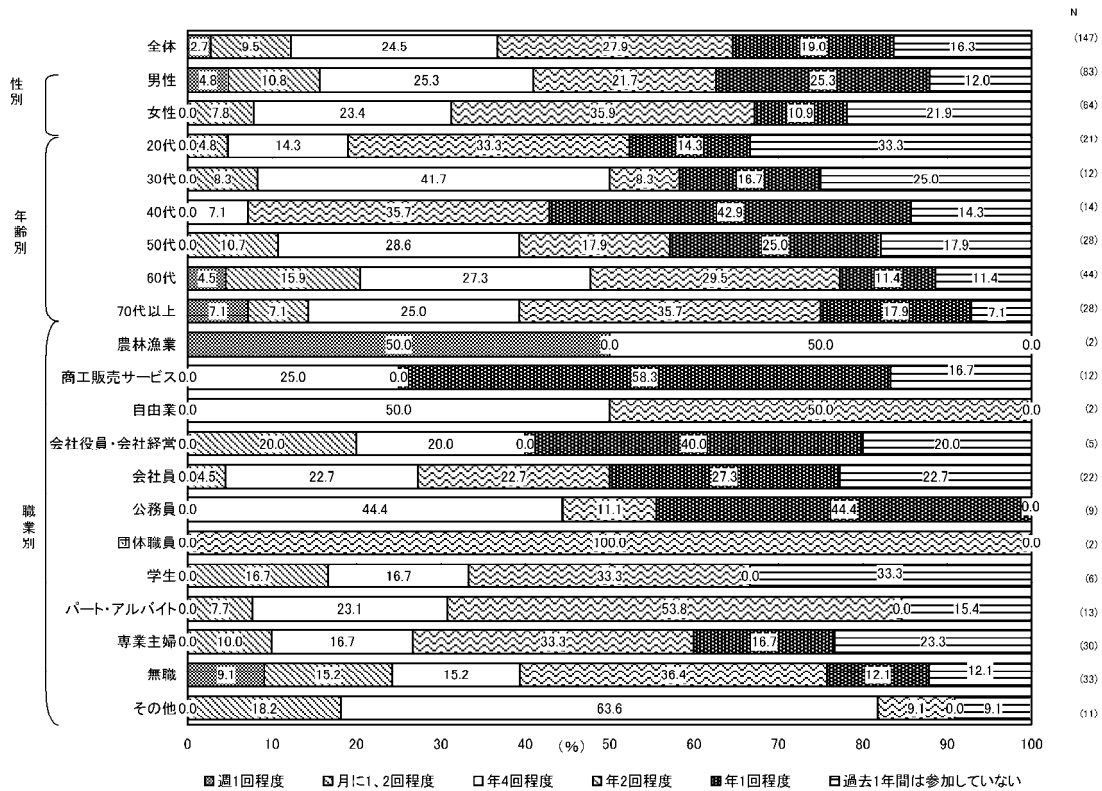
性別では、女性は「年に2回程度」参加する比率が最も多く(男性22%、女性36%)、「過去1年間は参加していない」比率も男性に比較してやや高い(男性12%、女性21%)。

年齢別では、高い活動頻度の比率(「週1回程度」「月に1,2回程度」の合計)は60代で高く(20%)、「過去1年間は参加していない」比率は20代で高い(33%)。

職業別では、高い活動頻度の比率は会社役員・会社経営、学生、無職で高く(20%、17%、24%)、「過去1年間は参加していない」比率は会社員、学生、専業主婦で高い(23%、33%、23%)。

(年齢別、職業別はサンプルが少ない層があるので結果は参考としてとどめられたい)

図表 7-8 環境保全活動参加の程度(性別、年齢別、職業別)

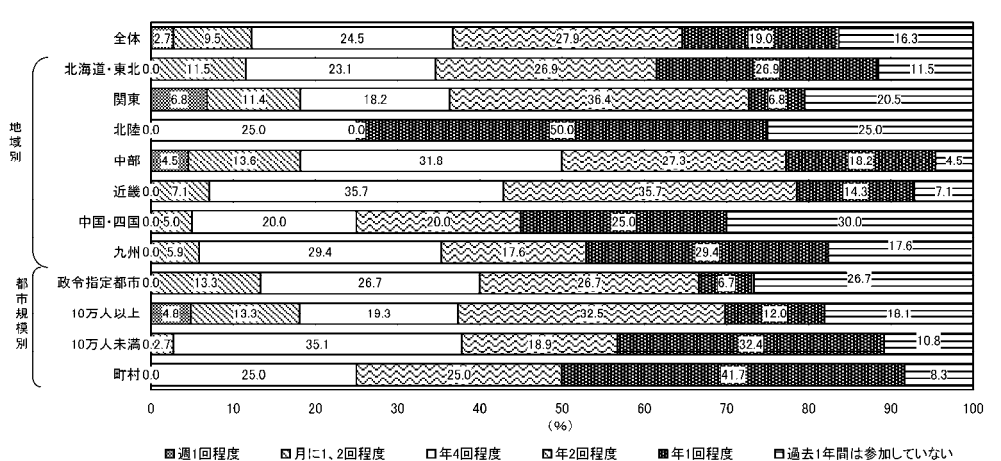


地域別では、高い活動頻度の比率は関東地方、中部地方で高く(ともに18%)、活動頻度「年に2回程度」は関東地方、近畿地方(ともに36%)で高く、「過去1年間は参加していない」は北陸地方、中国・四国地方で高い(25%、30%)。

都市規模別では、政令指定都市で「月に1、2回程度」「年に4回程度」の比率が高く(13%、27%)、町村では「年に1回程度」の比率が最も高い(42%)。

(地域別はサンプルが少ない層があるので結果は参考としてとどめられたい)

図表 7-9 環境保全活動参加の程度(地域別、都市規模別)



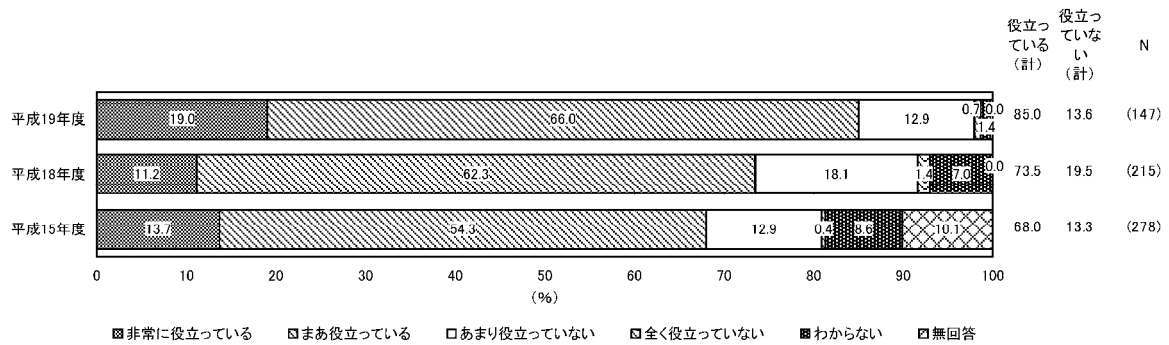
7-4 民間団体への参加による環境問題解決貢献の実感

民間団体の環境保全活動参加経験者の85%は、その活動への参加が環境問題の解決に「役立っている」と評価している。特に「非常に役立っている」とする比率(19%)が前回(11%)よりも増加している。

民間団体の環境保全活動に参加したことがある人は、その活動への参加が環境問題の解決に「役立っている」(「非常に役立っている」「まあ役立っている」の合計)とみている人が85%を占め、「役立っていない」(「あまり役立っていない」と「全く役立っていない」の合計)は14%にとどまっている。

前回調査と比較すると、「役立っている」と実感している人はほぼ同数であるが、「非常に役立っている」とする積極的評価が増加し(11→19%)、「役立っていない」とする評価は低下している(20→14%)。

図表 7-10 活動への参加、社会貢献(全体、時系列)



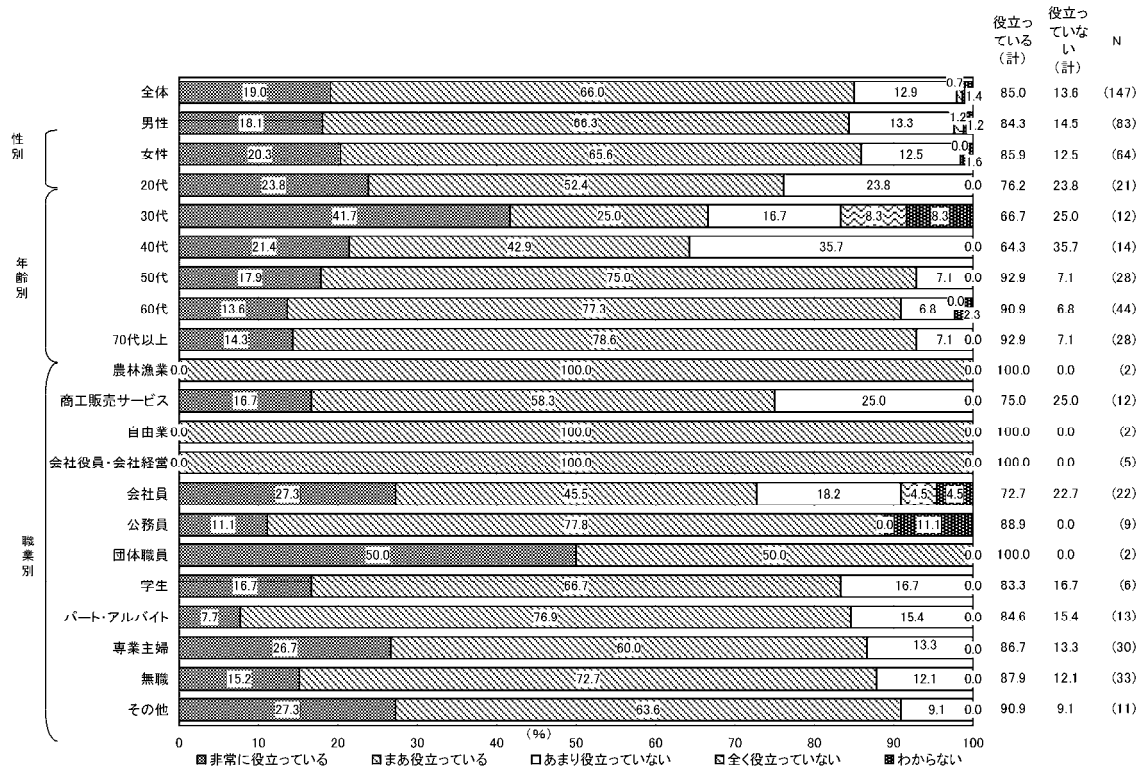
性別では、ほとんど差はみられない。

年齢別では、20代、30代、40代では約6~7割が「役立っている」と評価しているが、「役立っていない」とする評価も約2~3割みられる。一方、50代、60代、70代以上は9割以上が「役立っている」と評価している。

職業別では、商工販売サービス業、会社員で「役に立っていない」とする評価がやや高い(25%、23%)。

(年齢別、職業別はサンプルが少ない層があるので結果は参考としてとどめられたい)

図表 7-11 活動への参加、社会貢献(性別、年齢別、職業別)

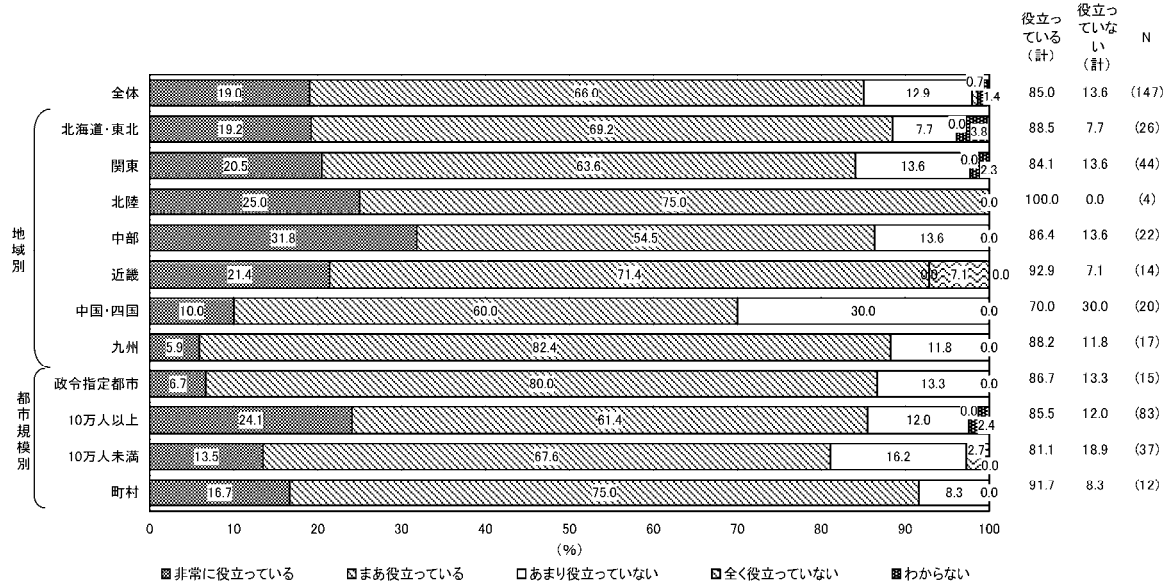


地域別では、あまり差が見られなかったが、中国・四国地方で「役に立っていない」とする評価が高い(30%)。

都市規模別では、「役立っている」と評価する比率は町村で高く(92%)、10万人以上の市で「非常に役立っている」がやや高い(24%)。

(地域別はサンプルが少ない層があるので結果は参考としてとどめられたい)

図表 7-12 活動への参加、社会貢献(地域別、都市規模別)

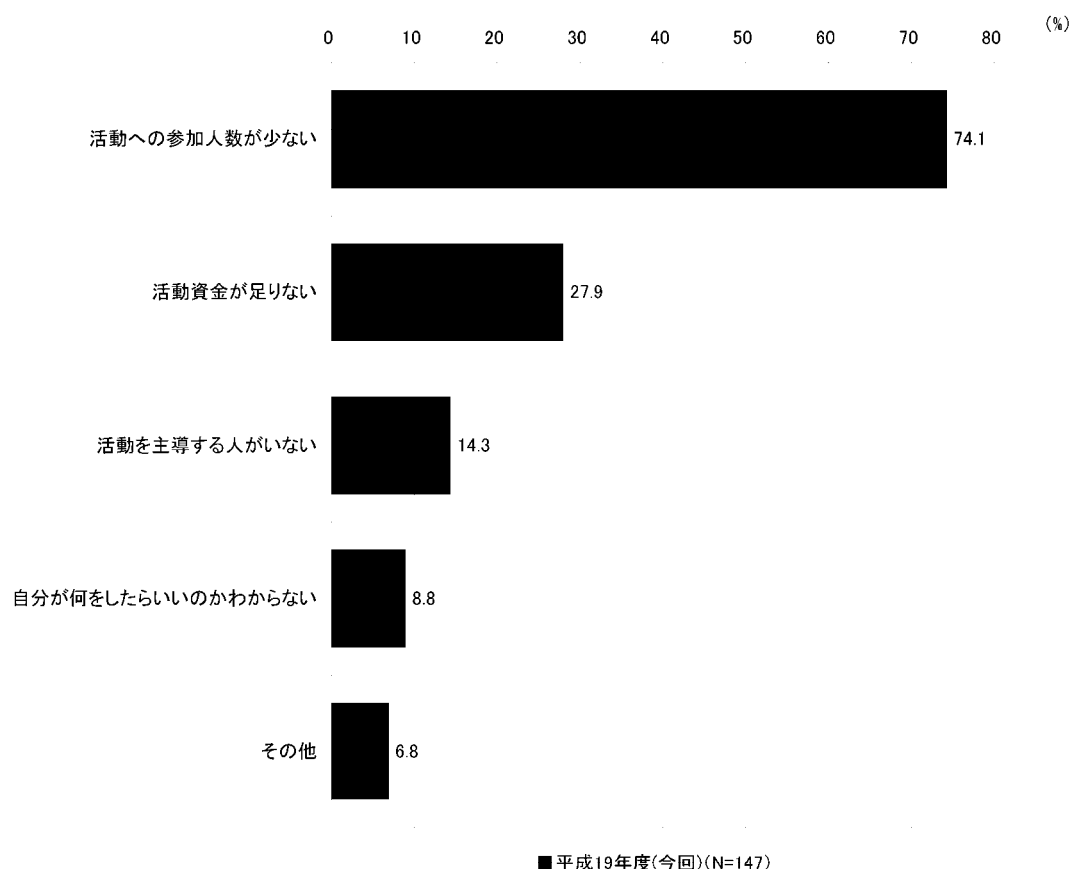


7-5 活動の問題点

環境保全活動の問題点として参加人数が少ないことや活動資金が問題と考える人が多い。

環境保全に関する活動を行う団体の活動への参加を通じて感じた問題を挙げてもらったところ、「活動への参加人数が少ない」が最も高く(74%)、次いで、「活動資金が足りない」(28%)、「活動を主導する人がいない」(14%)となっている。

図表 7-13 活動の問題点(全体)



性別では、大きな差はみられないが、男性が「活動資金が足りない」を挙げる人がやや高い(男性34%、女性20%)。

年齢別では、30代は「活動資金が足りない」とする意見が多く(50%)、50代以上では約8割が「活動への参加人数が少ない」を問題点として挙げている。

職業別では、農林漁業、自由業、団体職員では100%が「活動への参加人数が少ない」ことを問題点として挙げている。また、商工販売サービス業で「活動資金が足りない」(42%)、公務員、学生で「活動を主導する人がいない」(33%、33%)を問題点として挙げている人が多くみられる。

(年齢別、職業別はサンプルが少ない層があるので結果は参考としてとどめられたい)

図表 7-14 活動の問題点(性別、年齢別、職業別)

単位：%

	性別		年齢別							職業別											
	全体	男性	女性	年齢別							職業別										
				20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	農林漁業	商工販売サービス業	自由業	会社役員・会社経営	会社員	公務員	団体職員	学生	パート・アルバイト	専業主婦	無職	その他
調査数(N)	147	83	64	21	12	14	28	44	28	2	12	2	5	22	9	2	6	13	30	33	11
活動への参加人数が少ない	74.1	71.1	78.1	61.9	66.7	57.1	82.1	79.5	78.6	100.0	66.7	100.0	80.0	72.7	55.6	100.0	66.7	69.2	83.3	69.7	81.8
活動資金が足りない	27.9	33.7	20.3	28.6	50.0	28.6	28.6	18.2	32.1	0.0	41.7	0.0	0.0	36.4	33.3	0.0	33.3	38.5	20.0	27.3	27.3
活動を主導する人がいない	14.3	15.7	12.5	14.3	8.3	21.4	21.4	11.4	10.7	0.0	8.3	0.0	0.0	9.1	33.3	0.0	33.3	23.1	10.0	15.2	18.2
自分が何をしたらいいかわからない	8.8	8.4	9.4	14.3	0.0	14.3	7.1	9.1	7.1	0.0	16.7	0.0	20.0	9.1	0.0	0.0	16.7	7.7	3.3	12.1	9.1
その他	6.8	6.0	7.8	14.3	8.3	7.1	3.6	6.8	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	15.2	18.2

地域別で、全体の比率より 10%以上高い項目をみると、北海道・東北地方、九州地方で「活動資金が足りない」を問題点として挙げる人が多い(42%、41%)、中部地方で「活動への参加人数が少ない」が多い(86%)。また、中国・四国地方では「活動を主導する人がいない」が多く(30%)、近畿地方では「自分が何をしたらいいかわからない」が多い(21%)。

都市規模別では、規模の大きな都市ほど「活動への参加人数が少ない」を挙げる人が多い。

(地域別はサンプルが少ない層があるので結果は参考としてとどめられたい)

図表 7-15 活動の問題点(地域別、都市規模別)

単位：%

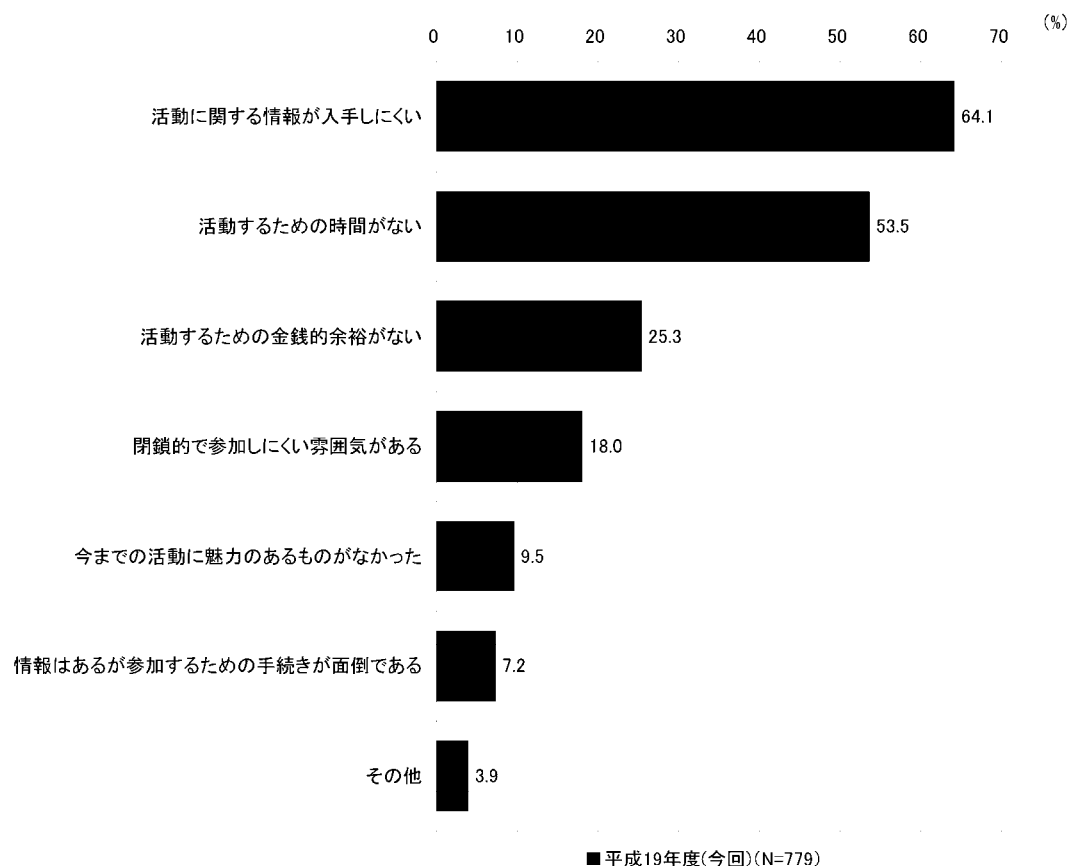
	全体	地域別							都市規模別			
		北海道・東北	関東	北陸	中部	近畿	中国・四国	九州	政令指定都市	10万人以上の市	10万人未満の市	町村
調査数(N)	147	26	44	4	22	14	20	17	15	83	37	12
活動への参加人数が少ない	74.1	73.1	77.3	75.0	86.4	71.4	70.0	58.8	86.7	77.1	70.3	50.0
活動資金が足りない	27.9	42.3	25.0	25.0	13.6	21.4	25.0	41.2	20.0	26.5	32.4	33.3
活動を主導する人がいない	14.3	11.5	15.9	0.0	9.1	7.1	30.0	11.8	13.3	16.9	8.1	16.7
自分が何をしたらいいかわからない	8.8	3.8	9.1	25.0	9.1	21.4	5.0	5.9	6.7	6.0	13.5	16.7
その他	6.8	7.7	4.5	0.0	0.0	14.3	5.0	17.6	0.0	7.2	8.1	8.3

7-6 活動に不参加の理由

活動に参加していない理由は活動に関する情報、活動するための時間・金銭的な余裕がないことが大きな理由となっている。

活動に参加していない理由を聞いたところ、「活動に関する情報が入手しにくい」が最も高く(64%)、次いで「活動するための時間がない」(54%)、「活動するための金銭的余裕がない」(25%)となっている。

図表 7-16 活動に参加しない理由(全体)



性別では、ほとんど差はみられなかった。

年齢別では、世代が若くなるほど「活動するための時間がない」、「活動するための金銭的余裕がない」を理由に挙げる人の割合が高い。また「今までの活動に魅力のあるものがなかった」については20代と30代がやや低い(2%と4%)のに対し60代、70代以上ではやや高い(15%と14%)。また40代は「閉鎖的で参加しにくい雰囲気がある」がやや高い(24%)。

職業別では、「活動するための時間がない」を理由とする比率は商工販売サービス業、会社員、公務員、パート・アルバイトで高く(61%、68%、71%、65%)、無職で低い(29%)。また、「活動するための金銭的余裕がない」については商工販売サービス業、会社員、パート・アルバイトでやや高く(33%、31%、31%)、「活動に関する情報が入手しにくい」は会社役員・会社経営、学生、その他でやや高い(80%、78%、85%)。「今までの活動に魅力のあるものがなかった」は農林漁業、会社役員・会社経営、無職でやや高い(25%、20%、21%)。

図表 7-17 活動に参加しない理由(性別、年齢別、職業別)

単位：%

	性別		年齢別							職業別											
	全体	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	農林漁業	商工販売サービス業	自由業	会社役員・会社経営	会社員	公務員	団体職員	学生	パート・アルバイト	専業主婦	無職	その他
調査数(N)	779	374	405	99	159	133	162	154	72	8	43	15	15	221	31	11	18	105	202	83	27
活動に関する情報が入手にくい	64.1	60.7	67.2	66.7	62.3	63.9	66.0	63.0	62.5	75.0	53.5	60.0	80.0	56.6	71.0	72.7	77.8	69.5	64.9	63.9	85.2
活動するための時間がない	53.5	53.7	53.3	62.6	61.0	56.4	58.0	40.9	36.1	37.5	60.5	33.3	33.3	67.9	71.0	54.5	50.0	64.8	40.6	28.9	63.0
活動するための金銭的余裕がない	25.3	26.2	24.4	33.3	33.3	28.6	24.7	13.0	18.1	12.5	32.6	26.7	20.0	31.2	6.5	27.3	22.2	30.5	19.3	20.5	33.3
閉鎖的で参加しにくい雰囲気がある	18.0	19.3	16.8	20.2	17.6	24.1	17.3	13.0	16.7	25.0	14.0	13.3	26.7	20.4	22.6	18.2	16.7	10.5	17.3	22.9	14.8
今までの活動に魅力のあるものがなかった	9.5	11.5	7.7	2.0	4.4	10.5	11.1	14.9	13.9	25.0	11.6	13.3	20.0	6.8	6.5	0.0	0.0	6.7	7.9	20.5	18.5
情報はあるが参加するための手続きが面倒である	7.2	7.5	6.9	8.1	6.9	8.3	8.0	3.9	9.7	0.0	4.7	6.7	0.0	8.6	9.7	0.0	11.1	5.7	7.9	7.2	3.7
その他	3.9	3.2	4.4	2.0	5.7	4.5	1.2	4.5	5.6	0.0	0.0	20.0	0.0	2.3	6.5	0.0	0.0	3.8	5.0	6.0	3.7

地域別ではほとんど差はみられないが、中国・四国地方は「活動に関する情報が入手にくい」がやや高い(73%)。

都市規模別では大きな差はみられないが、町村は「活動に関する情報が入手にくい」がやや高い(72%)。

図表 7-18 活動に参加しない理由(地域別、都市規模別)

単位：%

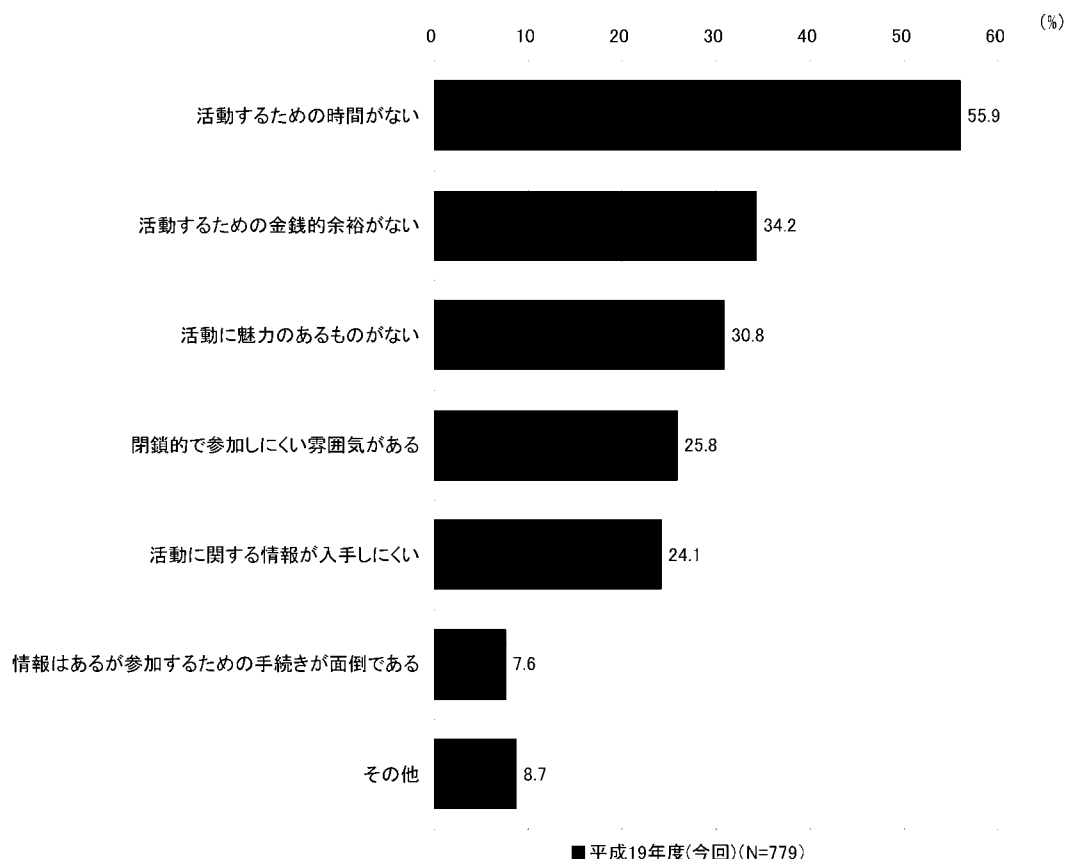
	全体	地域別							都市規模別			
		北海道・東北	関東	北陸	中部	近畿	中国・四国	九州	政令指定都市	10万人以上の市	10万人未満の市	町村
調査数(N)	779	107	240	39	111	124	60	98	162	384	166	67
活動に関する情報が入手にくい	64.1	58.9	63.8	66.7	64.9	62.9	73.3	64.3	63.6	61.2	68.1	71.6
活動するための時間がない	53.5	52.3	57.5	33.3	53.2	57.3	51.7	50.0	48.8	57.0	51.2	50.7
活動するための金銭的余裕がない	25.3	22.4	22.1	20.5	29.7	33.1	26.7	22.4	23.5	27.9	23.5	19.4
閉鎖的で参加しにくい雰囲気がある	18.0	19.6	16.7	7.7	21.6	21.8	15.0	16.3	19.8	16.9	18.7	17.9
今までの活動に魅力のあるものがなかった	9.5	9.3	9.2	10.3	9.9	8.9	10.0	10.2	7.4	9.6	12.7	6.0
情報はあるが参加するための手続きが面倒である	7.2	9.3	5.8	7.7	7.2	5.6	8.3	9.2	5.6	8.6	6.0	6.0
その他	3.9	3.7	2.1	7.7	4.5	3.2	5.0	6.1	5.6	3.9	0.6	7.5

7-7 参加意思のない人の活動に参加しない理由

活動に参加しようと思わない理由として時間と金銭的理由を挙げる人が多いが、活動に魅力のあるものが少ないことも大きな理由となっている。

活動に参加しようと思わない理由については、「活動するための時間がない」が最も高く(56%)、次いで「活動するための金銭的余裕がない」(34%)、「活動に魅力のあるものがない」(31%)となっている。

図表 7-19 活動に参加しない理由(全体)



性別では、「活動に魅力のあるものがない」について、男性は女性に対してやや高い(男性 37%、女性 25%)。

年齢別では、20代、30代、40代では「活動するための時間がない」がやや高く(61%、66%、64%)、60代、70代以上では低い(36%、24%)。また60代、70代以上は「活動するための金銭的余裕がない」とする比率も低い(23%、20%)。70代以上は具体的な理由のすべてについて比率が低く、「その他」が高くなっている(27%)。

職業別で全体の比率より10%以上高い項目をみると、農林漁業では「活動するための金銭的余裕がない」が高い(50%)。自由業では「閉鎖的で参加しにくい雰囲気がある」、「活動に関する情報が入手しにくい」、「参加するための手続きが面倒である」が高い(36%、36%、27%)。会社役員・会社経営では「活動するための時間がない」、「活動に魅力のあるものがない」、「閉鎖的で参加しにくい雰囲気がある」、「活動に関する情報が入手しにくい」が高い(67%、53%、40%、47%)。会社員では「活動するための時間がない」が高い(71%)。団体職員では「活動するための金銭的余裕がない」、「その他」が高い(60%、40%)。

図表 7-20 活動に参加しない理由(性別、年齢別、職業別)

単位：%

	性別			年齢別							職業別										
	全体	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	農林漁業	商工販売サービス業	自由業	会社役員・会社経営	会社員	公務員	団体職員	学生	パート・アルバイト	専業主婦	無職	その他
調査数(N)	701	338	363	154	161	119	118	108	41	6	40	11	15	217	33	5	38	93	155	66	22
活動するための時間がない	55.9	55.9	55.9	61.0	65.8	63.9	56.8	36.1	24.4	50.0	47.5	63.6	66.7	70.5	54.5	60.0	55.3	57.0	47.1	27.3	63.6
活動するための金銭的余裕がない	34.2	32.8	35.5	37.7	41.0	35.3	34.7	23.1	19.5	50.0	37.5	9.1	33.3	34.6	24.2	60.0	36.8	39.8	30.3	34.8	40.9
今までの活動に魅力のあるものがなかった	30.8	37.3	24.8	28.6	34.8	26.1	32.2	32.4	29.3	33.3	30.0	27.3	53.3	35.9	36.4	0.0	34.2	19.4	26.5	31.8	36.4
閉鎖的で参加しにくい雰囲気がある	25.8	26.9	24.8	27.3	25.5	30.3	23.7	25.0	17.1	16.7	25.0	36.4	40.0	27.2	21.2	20.0	26.3	24.7	29.7	13.6	22.7
活動に関する情報が入手にくい	24.1	20.1	27.8	28.6	21.1	26.1	25.4	22.2	14.6	33.3	15.0	36.4	46.7	23.0	9.1	0.0	18.4	32.3	26.5	21.2	22.7
情報はあがるが参加するための手続きが面倒である	7.6	6.8	8.3	11.0	7.5	10.1	7.6	2.8	0.0	0.0	2.5	27.3	6.7	9.7	12.1	0.0	10.5	4.3	7.7	1.5	9.1
その他	8.7	7.7	9.6	5.2	3.7	11.8	5.1	14.8	26.8	0.0	17.5	27.3	0.0	1.8	12.1	40.0	2.6	8.6	10.3	21.2	9.1

地域別では大きな違いはみられないが、北陸地方で「活動するための時間がない」がやや高く(63%)、九州地方で「活動に関する情報が入手しにくい」がやや高くなっている(33%)。

都市規模別では、規模の大きな都市ほど「活動するための時間がない」、「閉鎖的で参加しにくい雰囲気がある」を理由に挙げる人が多い。

図表 7-21 活動に参加しない理由(地域別、都市規模別)

単位：%

	全体	地域別							都市規模別			
		北海道・東北	関東	北陸	中部	近畿	中国・四国	九州	政令指定都市	10万人以上の市	10万人未満の市	町村
調査数(N)	701	86	205	43	104	127	63	73	140	342	147	72
活動するための時間がない	55.9	51.2	55.6	62.8	54.8	59.1	57.1	53.4	59.3	57.9	53.1	45.8
活動するための金銭的余裕がない	34.2	37.2	32.7	32.6	29.8	33.9	36.5	41.1	39.3	32.7	34.7	30.6
今までの活動に魅力のあるものがなかった	30.8	24.4	34.1	18.6	31.7	33.9	33.3	27.4	30.0	29.8	32.7	33.3
閉鎖的で参加しにくい雰囲気がある	25.8	18.6	26.3	30.2	29.8	26.8	27.0	21.9	31.4	24.6	26.5	19.4
活動に関する情報が入手にくい	24.1	23.3	21.0	20.9	23.1	28.3	20.6	32.9	27.9	24.3	25.2	13.9
情報はあがるが参加するための手続きが面倒である	7.6	2.3	7.8	7.0	12.5	8.7	6.3	5.5	9.3	8.8	6.1	1.4
その他	8.7	12.8	8.3	4.7	7.7	9.4	1.6	13.7	6.4	7.0	11.6	15.3